

道徳の時間で活用する ～節度、節制～

周南市立秋月小学校 倉光 範江

1 本場面におけるポイント

- 本時の学習に対する課題意識をもつ。
「私たちの道徳」の文章から節度の意味を知り、イラストを見て具体的な場面を想起することで、課題意識をもち資料に入っていくことができるようにする。
- 内容項目における現在の自分を認識する。
資料の主人公の行動について考えた後、「自分の生活をふり返ってみよう」に記入することで、自分の生活習慣について現状認識することができるようにする。
- まとめの場面で、これからの生活への意欲をもつ。
節度の大切さを再確認した後、「節度ある生活をするためにはどうすればよいのでしょうか。」という「私たちの道徳」の問いかけをもとに、今後の自分の生活について考えをまとめ、実践意欲をもてるようにする。

2 授業の実際

- 1 主題名 節度ある生活を 「資料名 流行おくれ（出典：東京書籍）」
- 2 ねらい 新しいものを欲しがらることを我慢できない「まゆみ」や同じように節度ある生活ができなかった自分について考えることを通して、自分の生活を見直すことの大切さに気づき、節度ある生活をしようとする意欲を高める。

3 展開

(1) 導入

教師：（節度の意味を押さえた後）このイラストの人たちは、何があったのかな。

- A児：ゲームが楽しくて、ついついやりすぎてしまった。
B児：ほしいものがあるって、我慢できなかった。
C児：一口食べたらい美味しくて、やめられなくなった。

- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」5・6年生用P14の文やイラストを見て、節度の意味を知り、度を越してしまう具体的な生活場面を想起させる。

ここでは節度は大切だができない時があることを感じさせ、本時に対する課題意識を十分にもてるようにする。



「私たちの道徳」P34～35

(2) 展開（主な教師の発問と児童の発言）

教師：真由美ができなかった節度は何？

D児：新しいものを欲しくなる事を我慢できないこと。

教師：まゆみ（副読本資料の主人公）は、物を大切にすることを分かっているのに、なぜ我慢ができなかったのだろう。

E児：「自分だけ持っていない。」ことがいやだから。

F児：流行に遅れたくない。新しいジャケットをどうしても着たい。

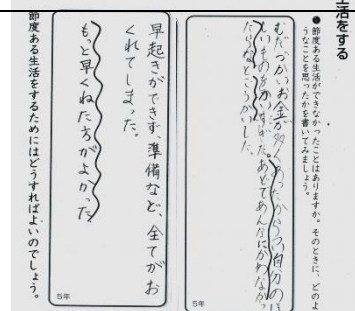
G児：仲間から外されるかもしれないから。
 教師：そういう気持ち、みんなにもある？
 I児：（他児童うなずきの後）みんなと一緒に自分でいたい。
 教師：だから、まゆみさんは分かっているのに我慢できなかったんだね。では、自分はまゆみのように節度ある生活ができなかったことはないかな。振り返ってみよう（「私たちの道徳」P15に書き込む）。
 J児：宿題を計画的に進められなくて、やっておけばよかったと思った。
 K児：遅くまで起きていて早起きできず、ちゃんと寝ておけばよかったと思った。
 教師：やっておけばよかったという気持ちが多いね。こういう気持ちを何て言う？
 L児：後悔。
 教師：分かっているけれどできなかったということだね。



- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

現在の自分を認識できるよう、「私たちの道徳」P15をワークシートとして活用し、どんな状況で節度ある生活ができなかったのか、その時の心情も併せて振り返らせる。

「私たちの道徳」P37→



(3) 終末

教師：分かっているてもできない経験は誰にでもあったね。例えば、節度のない生活をしていたら、その人はどうなるだろう。

N児：健康な生活を送れなくなる。

教師：では、節度のある生活をしていたら、その人はどうなるかな。

P児：心も体も健康でいられる。

Q児：自分をコントロールできるようになる。

教師：だから節度はやっぱり大切なんだね。これから、節度ある生活をするためにはどうすればよいのか、考えてみよう（ノート記入）。

- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

学習のまとめでは、「私たちの道徳」P15の一文を発問として活用し、今後の自分の生活について実践意欲をもてるようにする。

3 実践を振り返って

「私たちの道徳」P14は、扱う内容項目の意味を知り、本時の学習に対する課題意識をもたせるのに効果的だった。また、P15を使い、節度ある生活ができなかった自分を振り返らせることで分かりきったことを言う道徳の時間にならず、それぞれが自分の生活習慣を見つめ直すことができた。最後の「節度ある生活をするためにはどうすればよいのでしょうか。」の一文は、今後の自分の生活について意欲を高めるために有効であった。この内容項目は、食事や睡眠、整理整頓など多くの視点から生活習慣を見つめ、振り返るものである。今後も様々な場面で取り上げ、児童の道徳性を養いたい。

